山形市立本沢小学校　学校だより　　「思いやり　まねしてかしこく　力をあわせて」

しろやま

令和６年６月20日
第５号
校長　黒原　裕一

初夏の学校園　豊かな気づきがいっぱいです!!

登校するとまっすぐに学校園に向かう子供たちがたくさんいます。水をかけたり、栽培している植物の成長を確かめたりするためです。

「卵見つけた。何の卵だろう。」「育ててみたいな。」

「ぼくの茄子の実、なんでならないのかな。〇〇君に聞いてみよう。」

「今日は暑いからたくさん水をあげよう。」

「こっちのひまわりが葉っぱがたくさん出てきたよ。」

「何でぼくのは、元気がないんだろう。」

「ミニトマトの赤ちゃんだ。」

学びにつながる会話や疑問がたくさん生まれます。じっくり観察する子供もいます。

畑の世話をしながら、子供たちの会話をだまって聞いている教師もいます。おもしろくて、子供の違った一面も見つけられて楽しいそうです。

６年生は、ぶどうの先生「今野さん」と「千葉さん」に教えていただきながら、安芸クイーンの栽培に取り組んでいます。芽かきやジベ処理などの体験に加え、下草を取ること、水をしっかり上げることなど、よく観察しながら大切に見守っています。

実感を伴う豊かな体験は、本沢の子供を生き生きと育んでいます。

みんなでがんばる目標シリーズ「まねしてかしこく」（校長講話より）

５月18日（火）全校朝会において、今年度本沢小学校の児童と教職員でがんばる目標の３つ「思いやり・まねしてかしこく・力を合わせる」のうち、「まねしてかしこく」について、話をしました。学校では、

①教科書や資料のまねをする（お手本として）

②先生の教えてくれることのまねをする

③友達のやり方や工夫のまねをする

④過去の経験のまねをする（習ったこととつなげて考える）

ことで、知恵がついて、かしこくなるというお話です。さらに、メジャーリーグで活躍する大谷選手もチームメイトのまねをしてアメリカの野球に慣れていったこと、どの選手のまねをしたら自分に合うかよく考えたことの話では、「何をまねするか

よく考える」ことの大切さをお話ししました。

「まねをする」という行動は、主体的な学びの始まりであり、その時点で既に個性を発揮していると捉えています。別の言い方をすると「主体的に情報を得ること」にあたり、その方法を知ること、その良さを実感することは、未来をたくましく生きる子供たちに必要な力です。

私たち教職員も、学校生活で、最も身近で子供たちに「まねをされる」対象として、自らの在り方を磨いてまいりたいと思います。

家庭で過ごす時間は、ご家族がその対象です。愛情や地域を大切に思う心などの考え方とともに、様々な体験を通して、お子様たちは「まねをして（見習いながら）」成長しています。

先日テレビ放送された大手カレーチェーンで新社長に就任した 22 歳の女性の話は、「まねをする」ことがキーワードでした。子供たちが「まねをする」効用を考え、皆様の支援も賜りながら、教育活動を進めてまいります。

「資源回収」「交通安全活動」の表彰を受けました

～これまでご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます～

5 月 23 日山形市再生資源協同組合総会の席上、資源回収を通じたごみ減量運動の推進に関して、表彰を受けてまいりました。また、5 月 30 日山形地区交通安全協会総会の席上、多年にわたる交通安全活動に関して、こちらも表彰を受けてまいりました。偏に、保護者の皆様、地域の皆様の長年に渡る取組が認められたことであり、皆様から日々頂戴しております学校への支援について、あらためて感謝申し上げます。今後も、子供たちの健やかな成長を応援していただきますようお願いいたします。

7 月の主な予定

2 日（火）	演劇教室（上学年）	11 日（木）	社会科見学（4 年）	25 日（木）	終業式
4 日（木）	避難訓練（不審者対応）	16 日（火）	ぶどう贈呈式・ぶどう給食		※夏休み 8 月 27 日まで
9 日（火）	全校たてわり班活動	23 日（火）	学級懇談会	26 日（金）	水泳記録会（6 年）